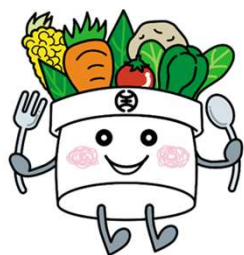


第4期八王子市食育推進計画(素案) について

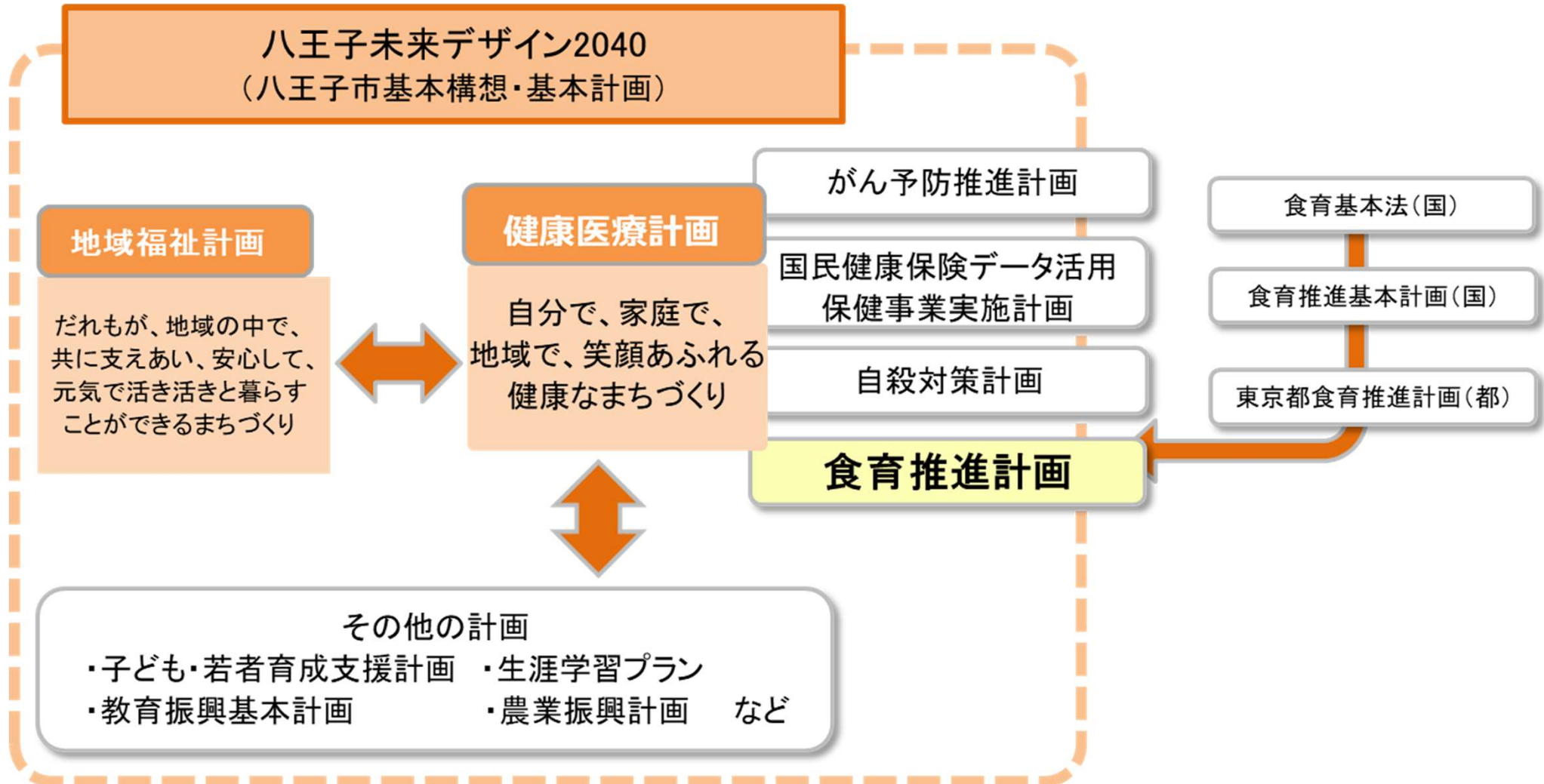
令和8年(2026年)2月12日
八王子市保健所運営会議
健康医療部健康づくり推進課



1 計画の概要



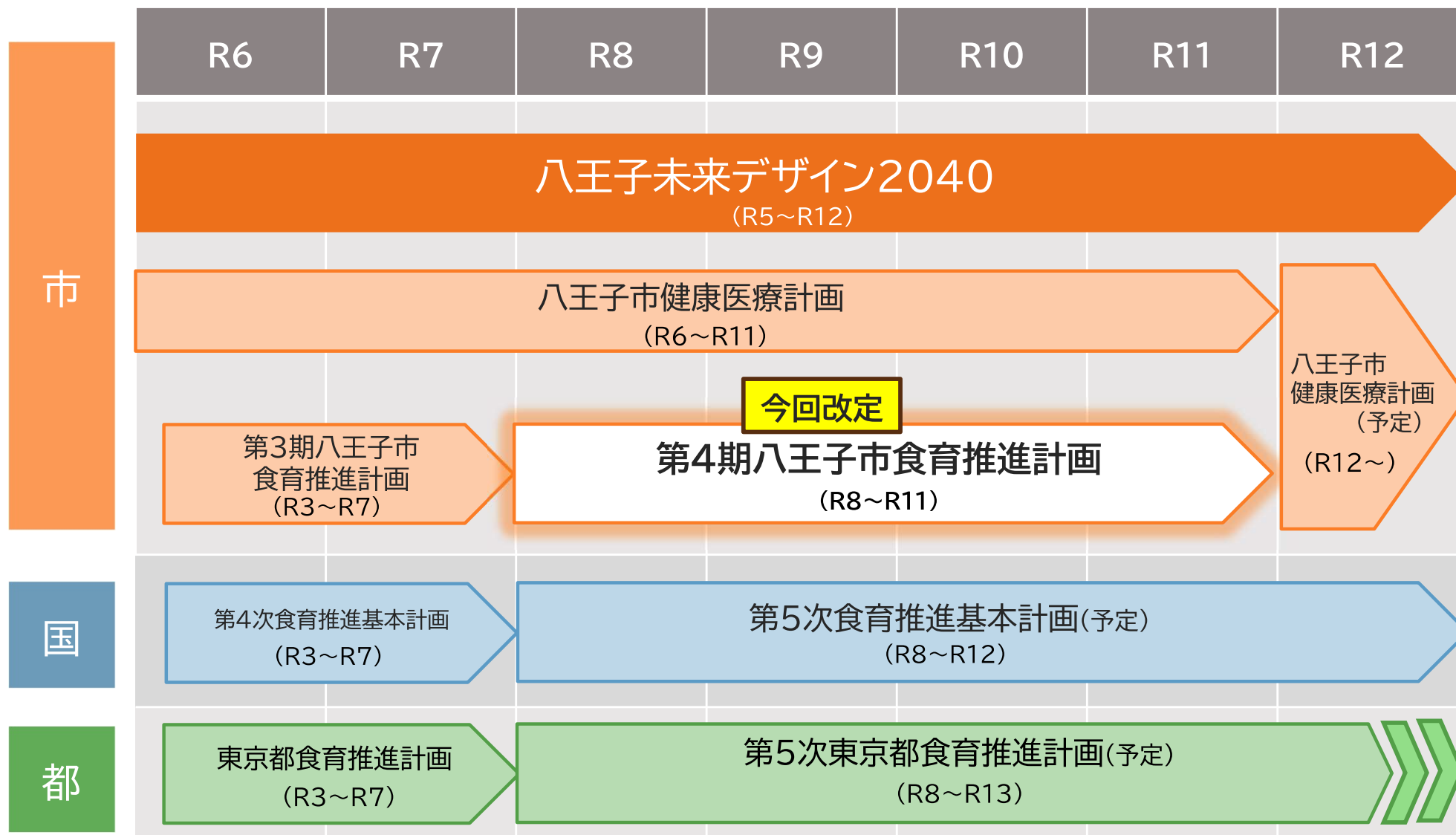
◎位置付け



1 計画の概要



◎計画期間



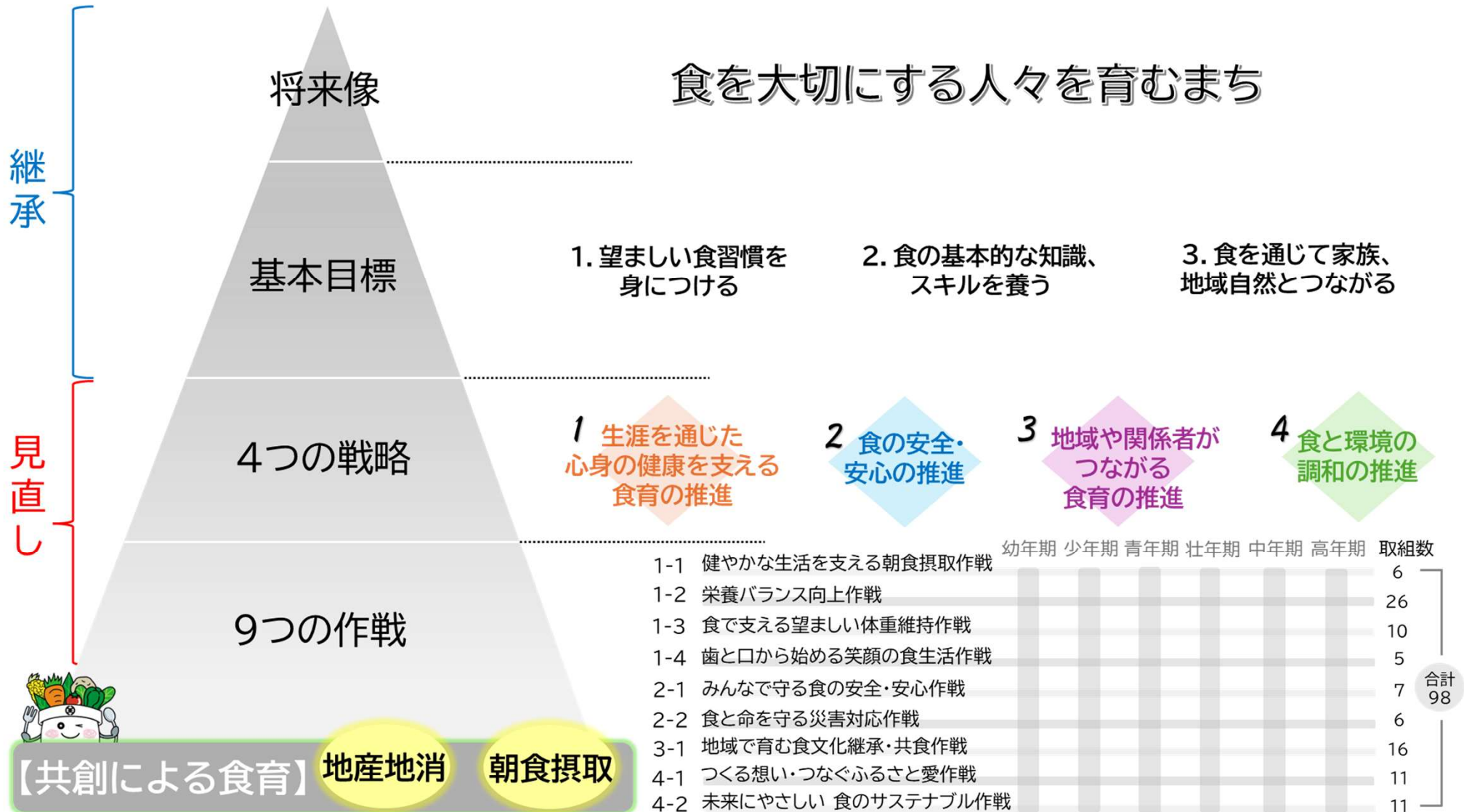
1 計画の概要（策定経過）

調査	実施時期	調査対象
計画策定に係るアンケート調査	令和6年10月～11月 ①市民意識調査 ②子ども意識調査	①18歳から74歳までの男女2,000名を無作為抽出 ②幼稚園、保育園、小学生の保護者、中学2年生、高校2年生
意見聴取の場	実施時期	検討内容
食育推進会議	令和6年5月～令和8年3月 ※3月に開催予定	<ul style="list-style-type: none"> ●現行計画の評価について ●次期計画策定に係る意識調査の検討 ●意識調査の結果について ●次期計画の骨子について ●ワークショップの報告 ●次期計画の素案について ●次期計画を踏まえた取組について
ワークショップ	令和7年6月～令和8年1月	<ul style="list-style-type: none"> ●八王子市の食の課題と将来像の検討 ●課題解決のための取組アイデアの検討 ●食育推進会議で取組アイデアを共有 ●共創による食育について
庁内連絡会	令和7年8月～令和8年2月	<ul style="list-style-type: none"> ●現行計画の評価について ●次期計画策定に係る意識調査の結果について ●次期計画の骨子について ●次期計画の素案について

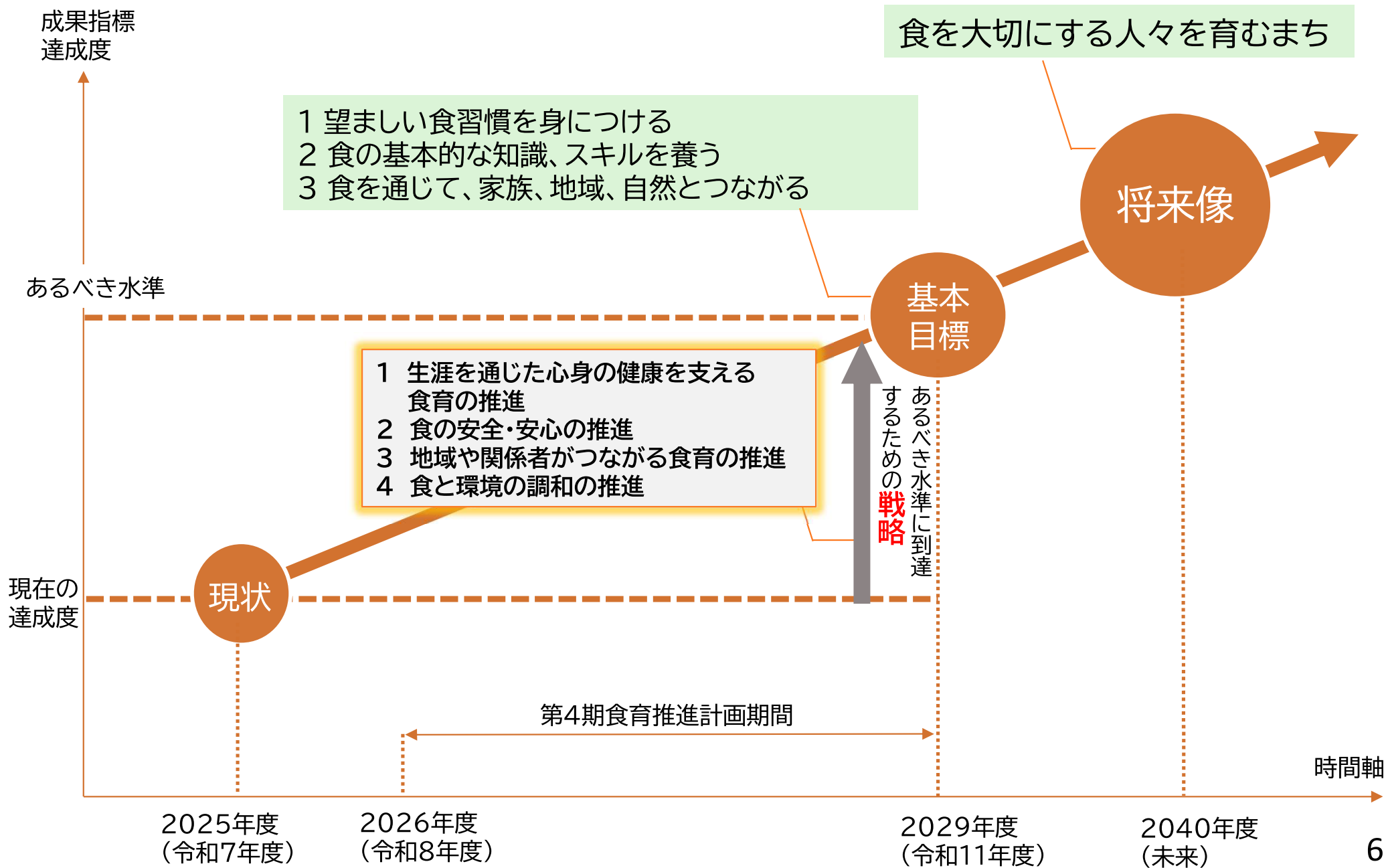
2 計画の体系



食を大切にしている人々を育むまち



2 計画の体系



2 計画の体系 (SWOTクロス分析)



◎基本目標の達成に向けた分析 市民意識調査・子ども意識調査やワークショップの結果、国の動向や市を取り巻く環境等を踏まえ、市の食育に関わる「強み」「弱み」「機会」「脅威」を抽出し、4つの戦略を立案しています。

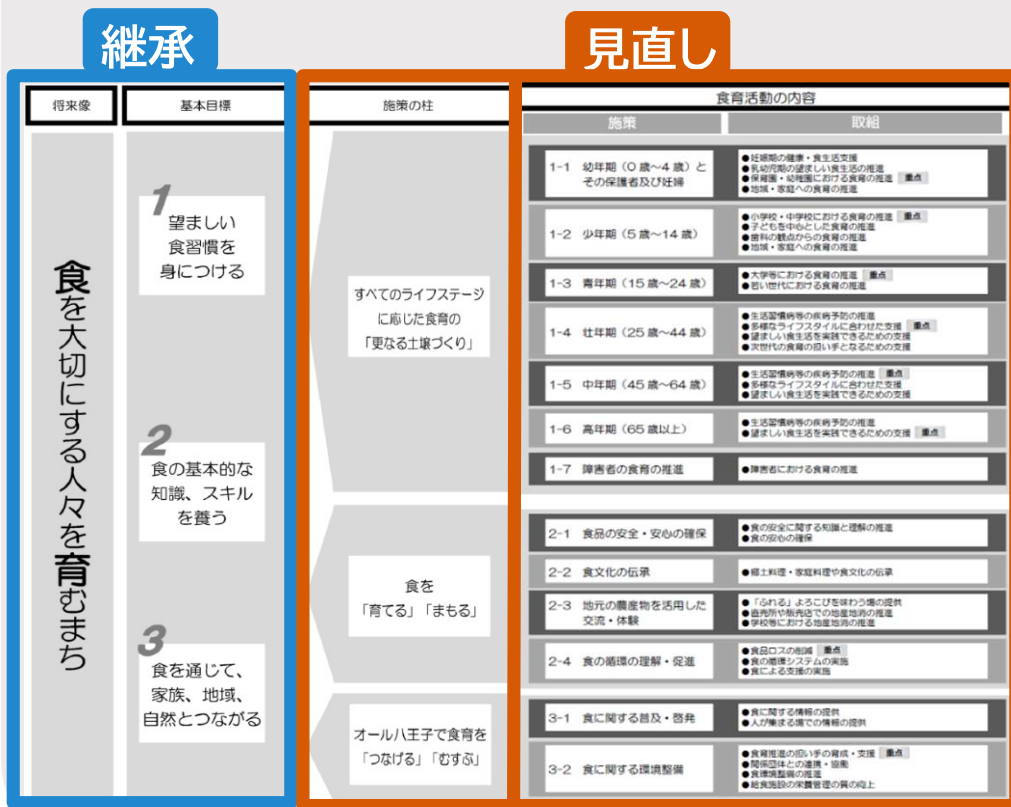
		内部要因(市の取組による影響・効果)	
		強み	弱み
外部要因(コントロールできない時代による変化や国の動向)	機会	<p>【強み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊かな自然環境 ・豊富な農地、水田 ・畜産業が盛ん 都内随一の農業生産高 ・ごみの排出量の少なさ全国1位 伝統的な食文化(かてめし・川口エンドウ、高倉大根、八王子ショウガ・桑の葉など) <p>【機会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「道の駅八王子滝山」が文化庁・食文化ミュージアムに認定 食料・農業・農村基本計画(国)の中で、「食卓と農の現場の距離を縮める取組」の拡大が示されている 「官民連携食育プラットフォーム」(国)による「朝食を食べよう」「バランスよく食べよう」「食や農の現場を体験しよう」プロジェクトを始動 「桑都・八王子のふるさと料理」が文化庁・100年フードに認定 <p><強みを活かし、強化させる:SO戦略> 戦略4:食と環境の調和の推進</p>	<p>【弱み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児肥満傾向児の増加 ・若い女性のやせ ・高齢者のやせ 男性肥満者率の増加 ・朝食の摂取率が低下 <p>【機会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康寿命が都の平均よりも高い 大学が多数立地するため、学生が多い 国の指針として、ライフコースアプローチを踏まえた健康づくりの推進が求められている 食や健康に関するイベントが多い 給食センターを活用し、夏季休業中に子どもたちへ昼食を提供している <p><弱みを克服し、機会に変える:WO戦略> 戦略1:生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進</p>
	脅威	<p>【強み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 5か所の学校給食センター ・100名を超える行政栄養士が在籍 はちおうじ健康応援店の登録店舗数が増加 市民の食育への関心や子どもを対象とした食育のニーズが高い 子ども食堂が定期的に活動(一部朝食提供あり) フードバンク八王子の活動 <p>【脅威】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単身高齢者の増加、高齢者の孤食傾向 共働き世帯の増加など、世帯構成の変化による孤食の増加 核家族化による食文化や生活様式の変化 コロナ禍や地域コミュニティの希薄化による、共食機会の減少 物価高による食育活動の運営負担の増加 学校卒業後の20~29歳の転出が多い <p><強みを活かし、脅威を回避:ST戦略> 戦略3:地域や関係者がつながる食育の推進</p>	<p>【弱み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害に備えた食料備蓄をする市民が約6割程度 若者において、食品購入時に「気を付けていることはない」の割合が高い 地場野菜のPR不足 <p>【脅威】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多発する大規模自然災害 食中毒の発生 情報過多による正しい情報の取捨選択の課題 地球温暖化による、作物の品質・収穫量の低下 <p><弱みを克服し、脅威を回避:WT戦略> 戦略2:食の安全・安心の推進</p>

2 計画の体系（前期計画との比較）



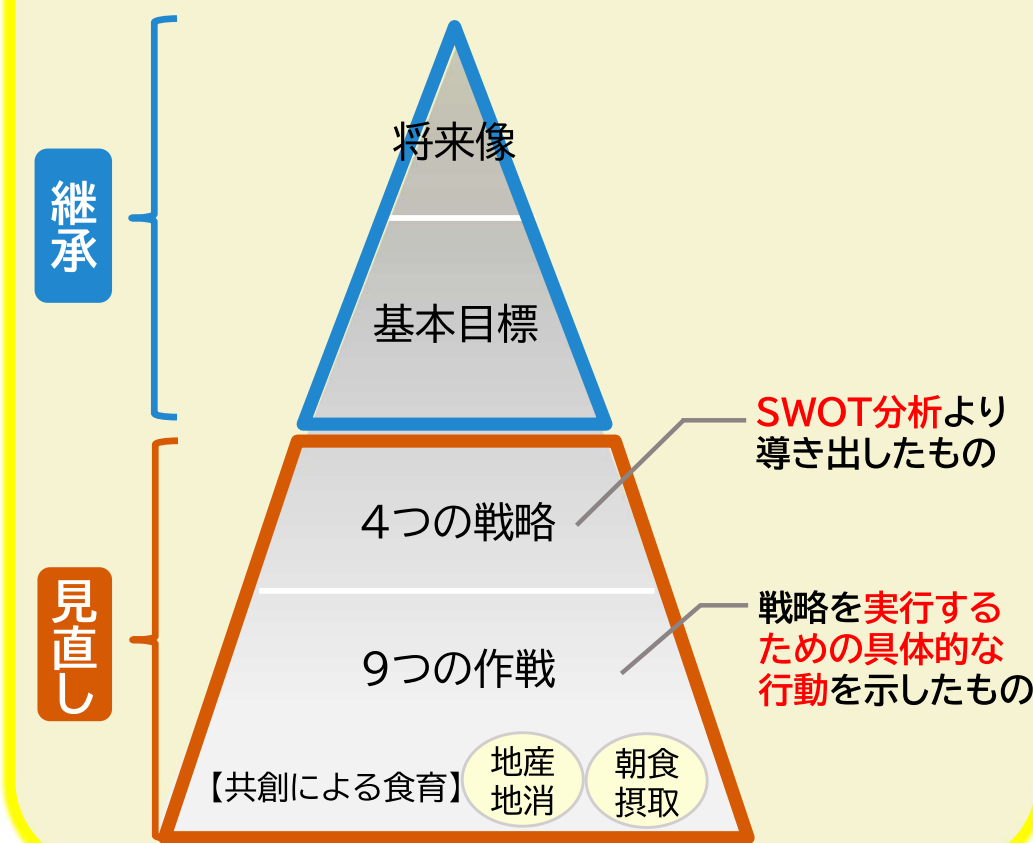
第3期計画

「将来像」「基本目標」の実現に向け、「施策の柱」を設定し、ライフステージに応じた取組を推進。



第4期計画

「将来像」「基本目標」の実現に向け4つの戦略を設定し、さらに、9つの作戦を展開することで、ライフコース*に沿った取組を推進。



*ライフコースアプローチ設定の背景

健康日本21(第3次)においてライフコースアプローチを踏まえた健康づくりを提唱。また、上位計画である八王子市健康医療計画においても、ライフコースの視点を持ち合わせており、整合性を図るため。

3 計画の構成



第1章 総論

- 1 計画の概要
- 2 将来像・目標
- 3 目標達成に向けて
- 4 計画の推進に向けて

第2章 各論

- 1 計画の体系図
- 2 施策の展開

資料編

- 1 用語解説
- 2 第3期計画の評価
- 3 会議名簿
- 4 計画策定の経過

3 計画の構成



「9つの作戦」ごとに

2 施策の展開

戦略1 生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進

作戦 1-1 健やかな生活を支える朝食摂取作戦

現状と課題

- 「令和6年度八王子市民の食育に関する意識調査」(以下:「意識調査」)の結果において、朝食を「ほぼ毎日食べている」と回答した割合が約7割となっています。一方で、大学生では4割台半ばにとどまり、若い世代の朝食摂取率が低い傾向にあります。
- 朝食を食べない理由としては、「時間がないから」が約5割と最も多く、次いで「食欲がないから」「食べない方が体調が良いから」などが挙げられています。
- 朝食を欠食することにより、肥満などの生活習慣病の発症リスクが高まる懸念があります。そのため、朝食の重要性を理解し、朝食摂取の習慣を定着させる必要があります。

今後の方向性

- 自ら食を選び始める若い世代(大学生等)に対して、食育の充実をはかります。
- 地域、教育機関などとの共創によって、市民全体への朝食摂取の定着を推進します。
※朝食摂取に関する取組は「共創による食育」に掲載しています。
- 食習慣の基本である朝食摂取の重要性について理解を深めるため、保育園や学校などの教育現場での啓発を進めます。

★について:第4期食育推進計画策定にかかるワークショップで出た取組アイデア
NEWについて:第4期食育推進計画からの新規の取組

市の取組

取組名	取組目標	指標名	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)	ライフコース						担当課	
					幼年期	少年期	青年期	壮年期	中年期	高齢期		
1 資料やパネルによる幼少期の食育周知	幼児健診時に朝食摂取に関する資料配布やパネル掲示を行うことで、乳幼児期からの基本的な食生活の獲得に向けた支援ができています。	3歳児健康診査実施回数	72回	現状維持	○							こども家庭センター
2 高校との連携	学校における「総合的な探究の時間」生徒に取り組んでほしい八王子の地域課題の一つとして、朝食摂取の推奨等、食育に関する課題を共有し、アンケート調査を行うことで朝食摂取の大切さなど食への意識が高まっている。	出前講座実施回数	-	6校			○					青少年若者課 健康づくり推進課
3 大学との連携	PBL授業や大学コンソーシアム八王子のネットワークを活用して学生へ朝食摂取など食育事業の周知・啓発を行うことで、大学等と市との連携事業数の増加に向けた取組が進められている。	大学等と市との食育に関する連携事業数	179件	244件			○					学園都市文化課 健康づくり推進課
4 SNSを活用した情報発信	若い世代(15~24歳)を対象に朝食摂取に関する情報をホームページやSNS等で発信できている。	ホームページ閲覧数	-	300			○					健康づくり推進課

「概要ページ」(左) と 各所管課の取組(右)

が掲載されます。

4 施策の展開



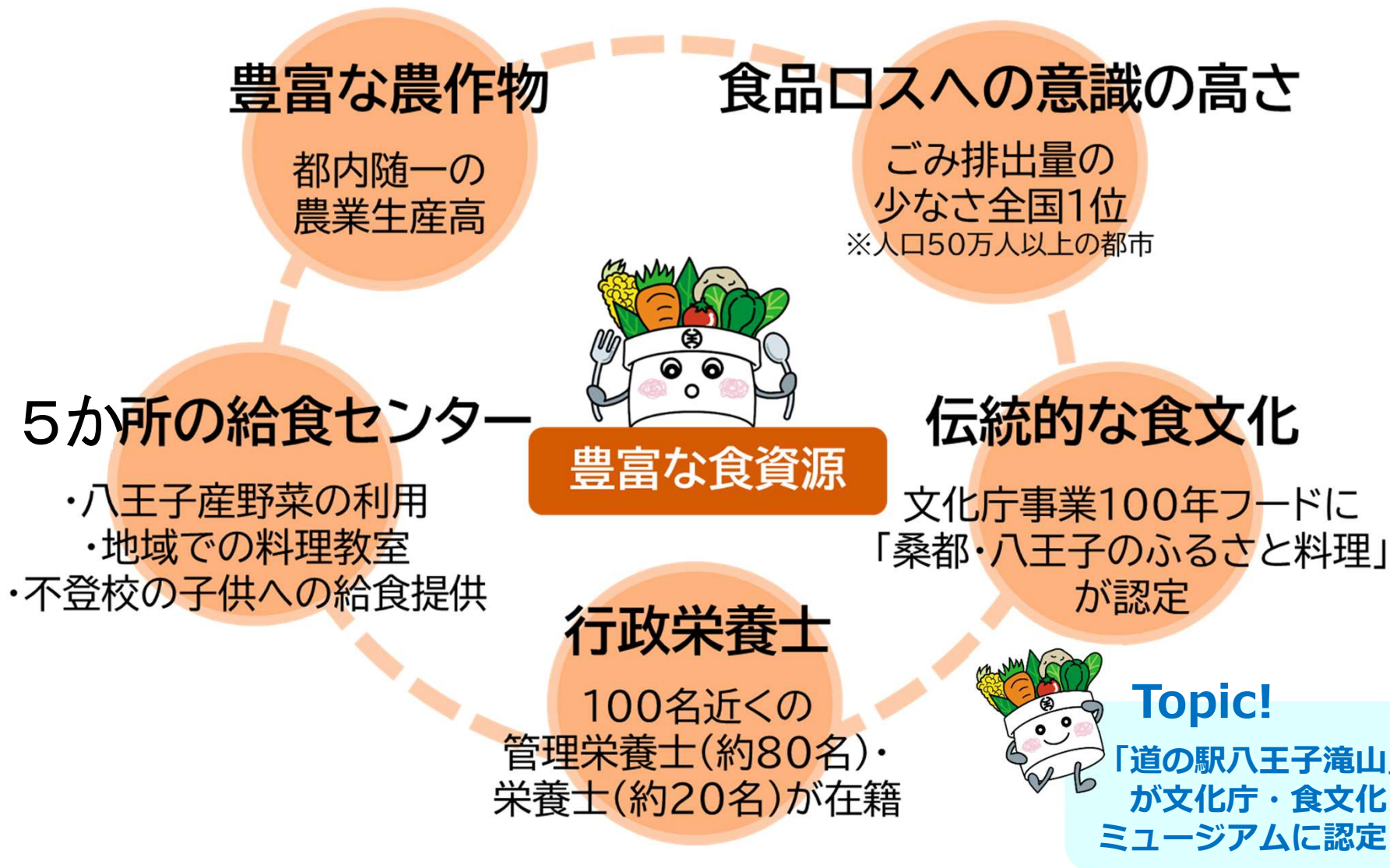
◎9つの作戦ごとの取組数

9つの作戦	取組数	うち新規取組
1-1 健やかな生活を支える朝食摂取作戦	6	3
1-2 栄養バランス向上作戦	26	8
1-3 食で支える望ましい体重維持作戦	10	3
1-4 歯と口から始める笑顔の食生活作戦	5	1
2-1 みんなで守る食の安全・安心作戦	7	1
2-2 食と命を守る災害対応作戦	6	2
3-1 地域で育む食文化継承・共食作戦	16	8
4-1 つくる想い・つなぐふるさと愛作戦	11	3
4-2 未来にやさしい 食のサステナブル作戦	11	5
合計	98	34

4 施策の展開



◎施策の展開における「八王子らしい」の5つの食資源



5 評価指標の設定



◎3つの基本目標と9つの作戦ごとの評価指標

基本目標	最終アウトカム	現状 (R6)	目標	9つの作戦	中間アウトカム	R1	現状(R6)	目標	取組数			
1 望ましい食習慣を身につける	生活リズムを整え、自身に見合った食量やバランスを把握できている 【指標】 ・健康のために「食生活に気を付けることを心がけている」人の割合 (調査報告書:P96)	59.4%	90%	1-1 健やかな生活を支える朝食摂取作戦	朝食を「食べていない」人の割合	1.1%	1.1%	0%に近づける	6			
					幼稚園・保育園児	0.9%	1.9%					
					小学生	4.4%	7.8%					
					中学生	13.3%	17.6%					
					高校生	25.6%	37.7%					
大学生	13.6%	13.5%										
一般												
2 知識、食の基本的なスキルを養う	食の安全・安心に関する知識を身につけ、適切な食が選択できている 【指標】 ・『食育』について関心のある内容のうち、「食品の安全性について関心のある」人の割合 (調査報告書:P18)	52.1%	70%	2-1 みんなで守る食の安全・安心作戦	子どもの食生活で当てはまることで「①野菜を食べる量が少ない、②好き嫌いが多く、③ながら食べが多い」と回答する人の割合	①31.5% ②36.1% ③31.7%	①37.1% ②36.1% ③31.7%	25%	26			
					2-2 食と命を守る災害対応作戦	適正体重を「維持している」人の割合	65.7%			65.4%	70%	10
					2-3 食で支える望ましい体重維持作戦	「食育」に関することで、「ゆっくりよく噛んで食べることについて関心がある」人の割合	28.2%			23.2%	55%	5
					2-4 歯と口から始める笑顔の食生活作戦	食品購入時に「食品表示(栄養成分やアレルギー表示等)に気をつけている」人の割合	26%			30.2%	70%	7
3 地域、食を通じて、家族、自然とつながる	家庭や地域での食を通じた交流を大切にし、食文化の継承と環境への配慮が実践できている 【指標】 ・食事を「楽しいと思う」人の割合 (調査報告書:P30)	63.8%	70%	3-1 地域で育む食文化継承・共食作戦	食料を「備蓄している」人の割合	-	64.6%	70%	6			
					3-2 食文化を次世代へ伝えていくことを「大切だと思う」人の割合	90.5%	87.6%	100%に近づける	16			
						平日3食及び休日3食すべて「ひとりで食事をする」人の割合	5.8%	8.3%		0%に近づける		
					4-1 つくる想い・つなぐふるさと愛作戦	八王子産の農産物を「購入している」人の割合	42.1%	43.8%	60%	11		
4-2 未来にやさしい食のサステナブル作戦	食品ロス削減のために「残さず食べる」人の割合	65.4%	69.6%	80%	11							

6 共創による食育



◎国の動向

・朝食の欠食、栄養バランスがとれていない食生活、食に対する関心の低下、農の現場や食品製造の実態を知らない人の増加など、食を取り巻く様々な課題が生じている。(農林水産省「食育に関する意識調査」より)

官民で連携し、消費者の食と農への理解の醸成と行動変容に向けての新たな展開を図るため、

「官民連携食育プラットフォーム」を設置

(令和7年6月)

【プロジェクトテーマ例】

- > 朝食を食べよう
- > 食や農の現場を体験しよう



◎本市の状況

①八王子市民の食育に関する意識調査結果

朝食摂取 ・朝食を「ほとんど食べていない」が1割弱
・大学生の朝食欠食者は約2割

地産地消 ・八王子産の農産物の購入状況について、前回調査(令和元年度)から大きな変化がみられない

②ワークショップ

多数の「朝食摂取」や「地産地消」に関する取組アイデア

【取組アイデア例】

- > 時短で作れる朝食レシピをSNS等で共有・拡散
- > 種まきから収穫まで一連の作業を行える農業体験を実施



新たな手法による食育に挑戦し、推進していく

6 共創による食育（官民連携食育プラットフォーム会員交流会）



日時：令和7年11月26日(水)

会場：東京ミッドタウン日比谷BASE Q HALL

官民連携食育プラットフォーム

大人の消費者に、改めて食や農に対する理解を深め、健康な食事を取り、楽しい食の時間を過ごしていただくとともに、食卓と生産現場の距離を縮めるため、**民間企業等と連携**して「**大人の食育**」を推進する体制



食べる、生きる、楽しむ。
ニッポンの食育。



6 共創による食育（例：朝食摂取できる機会の創出）



八王子市

(例)自然と朝食できる環境を大学キャンパスで構築できないか

- ・ターゲット
→大学生
- ・フィールド
→大学キャンパス等
- ・学生に提供するもの
ソフト面では…
ハード面では…



民間事業者

- (例)
- ・大学生よりも…
 - ・大学生なら〇年生を
 - ・キャンパス内の食堂より、中庭の方が…
 - ・ソフト面では〇〇が提供できる
 - ・ハード面ではサービスの提供は難しい

対話と共感を起点に、共創による食育を展開

7 計画の特徴（まとめ）



第4期計画

第4期計画
あなたと食の未来を
「織りなす」時期

第1期計画
食育を「知る」「広める」時期

第2期計画
食育が「根付く」時期

第3期計画
より多くの市民や市民活動団体・
民間事業者等が食育を
「実践できる」時期

9つの作戦	作戦名	ライフステージ						取組数
		幼年期	少年期	青年期	壮年期	中年期	高年期	
1-1	健やかな生活を支える朝食摂取作戦							6
1-2	栄養バランス向上作戦							26
1-3	食で支える望ましい体重維持作戦							10
1-4	歯と口から始める笑顔の食生活作戦							5
2-1	みんなで守る食の安全・安心作戦							7
2-2	食と命を守る災害対応作戦							6
3-1	地域で育む食文化継承・共食作戦							16
4-1	つくる想い・つなぐふるさと愛作戦							11
4-2	未来にやさしい 食のサステナブル作戦							11
							合計	98